

# ニューヨーク安全マニュアル



## 目次

ニューヨーク市の治安について	-----2
安全に対する基本的心構え	-----4
屋外(街頭)での安全対策	-----5
ホテル・空港での安全対策	-----6
自動車に関する安全対策	-----7
住居の安全対策	-----8
事件や事故に巻き込まれてしまったら	-----10
パスポートの盗難・紛失	-----12
法規・習慣の違いによるトラブル等	-----14
緊急事態に対する基本的心構え	-----16
安全情報の収集	-----18
テロ対策	-----20
地域内のサイレン	-----26
危険から身を守るための防護	-----26
避難	-----27
停電が起きたら	-----28
メンタルヘルス	-----29
「在留届」を必ず提出しましょう	-----30
オンライン安否照会システム	-----32
緊急時の連絡先等	-----33



# ニューヨーク市の治安について

## 1 治安状況

ニューヨーク市は世界で最もエキサイティングな街といわれており、世界中から人々が集まり賑わっています。その一方で、様々な誘惑や危険も多く存在しています。



アメリカの大都市の中では比較的安全といわれているニューヨーク市ですが、それでも日本とは比較にならないほど犯罪発生率が高く、多くの邦人も被害に遭っています。

## 2 犯罪の多い地域

殺人などの凶悪犯罪の多くは、ブルックリン区やブロンクス区等で発生しており、観光客が多く訪れるマンハッタン中心部の治安は比較的よいとされています。



犯罪から身を守るためには、「危険な地域や状況下に立ち入らない」ことが極めて重要です。

またマンハッタンの中心街でも、置き引きやスリ等が多発しています。人通りのない路上やビルの陰、地下鉄等において武装強盗に襲われる危険もあるので決して油断しないでください。

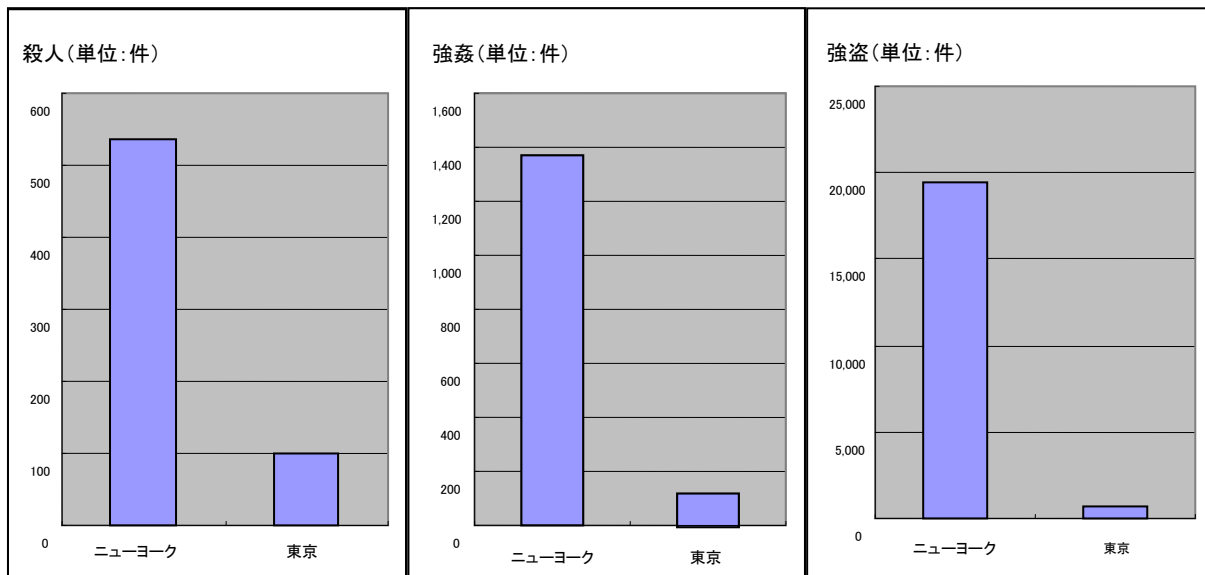
### ■ 地区別犯罪認知件数(2010年)

注:総数には下記7罪種以外の重罪件数を含む。



地区名	総数	殺人	強姦	強盗	傷害	侵入窃盗	窃盗	車両盗
マンハッタン	26,857	70	338	3,763	3,093	3,149	15,462	982
ブロンクス	19,666	127	288	4,611	4,445	3,345	4,690	2,160
ブルックリン	32,771	222	408	6,633	5,718	6,652	9,804	3,334
クイーンズ	22,983	100	272	4,064	3,241	4,858	6,949	3,499
スタッテン島	2,930	17	63	420	486	622	973	349

## ■ ニューヨーク市と東京の犯罪率比較(2010年)



### 殺人 (単位:件)

ニューヨーク:536 東京:100

### 強姦 (単位:件)

ニューヨーク:1,369 東京:160

### 強盗 (単位:件)

ニューヨーク:19,491 東京:595

注:日本の犯罪統計では殺人未遂も殺人に含まれますが、NY市の犯罪統計では殺人に未遂は含まれない等、ニューヨークと東京の罪種のカテゴリーには異なりがあります。

## 安全に対する基本的心構え

近年ニューヨーク市の治安が良くなってきているとはいえ、凶悪事件の数は、日本より遥かに多いのが現状です。当然ですが米国では、日本の主権法律は全く及びません。米国の制度・法律をできるだけ知り、万一の場合は知人・弁護士に相談するなど冷静に行動しましょう。以下の点を心掛けてください。



- 1 自分と家族の安全は自分達自身で守るとの心構えを持つ。  
最悪に備えながらも、行動は冷静に。



- 2 住居の安全対策は生活の基礎となるため、ホテルや住宅選びは、安全性を優先する。

- 3 行動の三原則:

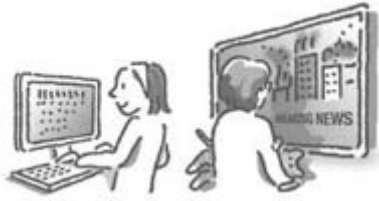
- ① 目立たない
- ② 行動のパターン化を避ける
- ③ 用心を怠らない



- 4 現地社会に早く溶け込むよう努め、ご近所の方たちと情報交換をする。



- 5 新聞、テレビ、総領事館のホームページなどにより、現在どのような犯罪が発生しているかを知ることとは、防犯対策を検討する上で非常に重要。常に治安情報の収集に努める。



## 屋外（街頭）での安全対策

盗難・強盗事件に巻き込まれないよう、以下に注意しましょう。



**1** 危険といわれている地域や場所には、昼間であっても決して近づかないようにする。

**2** 深夜や早朝の独り歩き、ジョギング、地下鉄の乗車は避ける。



**3** 周囲に不審な人物がないか常に警戒意識を保ちながら行動する。  
故意にぶつかりワインボトルを落したり、サングラスをわざと踏ませて、弁償を強要するといった恐喝被害に気をつける。



**4** 人前で現金や貴重品を決して見せず、多額の現金は持ち歩かないようにする。現金を持ち歩く場合は、なるべく複数のポケットや財布に分散する。



**5** 親しげに話しかけてくる者には特に注意。警察等を装って近づく犯罪者もいるので、不審に思ったらIDを見せてもらう等する。



**6** 強盗に襲われた場合は抵抗せず、なるべく犯人を直視しない。  
犯人に武器を取り出すと誤解されるような行動は避け、あらかじめ強盗対策用として20ドル位をポケット等に入れておき、その現金の位置を示し、犯人に取り出させるようにする。

## 7 詐欺事件に巻き込まれないよう、うまい儲け話には気をつける。



### ホテル・空港での安全対策



**1** 貴重品はセーフティー・ボックスに預ける。必要ない限り多額の現金や貴重品を持ち歩かない。



**2** ドアは鍵を2重にかけ、必ずロックする。鍵が壊れている場合、フロントへ連絡し、修理してもらう。



**3** スリにあわないよう、手続き中も貴重品は手に持ち、足元の荷物は両足でしっかりはさむ。



**4** 空港のバゲージ・クレームでも、手荷物に十分注意する。また、無許可営業タクシー(白タク)の被害に遭わぬよう「タクシー」、「スーパーシャトル」等と言って近づいてくる者には注意し、空港内の決められた正規の乗り場から乗車する。



## 自動車に関する安全対策



自動車を使用する際には、以下の点に注意しましょう。

- 1** 車の駐車には安全な場所を選び、特に夜間は明るい場所に駐車しましょう。  
路上駐車は出来るだけ避ける。車の乗降時には、周囲に不審な人物がいないか確認する。

- 2** 乗車中も下車後も必ずドアをロックし、出来る限り窓を閉めておく。  
貴重品は車内に放置しない。



- 3** 車外からのひったくりや、信号待ちの間に強盗が助手席へ乗り込まないように注意する。



- 4** 誰かにつけられていると感じたら、警察署や人通りの多い場所へ避難する。  
よく通る道では、警察署や消防署のような安全に逃げ込める場所を  
予め把握しておく。



- 5** 走行中のエンスト等のトラブルを避けるため、車は常に点検する。燃料の補給も忘れずに。



# 住居の安全対策



住居の選定には、地域の治安状況等を慎重に見極める必要があります。

## 1 一般的に次のような場所や物件は避ける。

- ① 道路にゴミが散らかっており、壁等に落書きが多い所
- ② スーパーマーケットや店が鉄格子で嚴重に囲まれている所
- ③ 昼間なのに大人が所在なさにたむろしている所
- ④ 庭の手入れが悪い家が多い所
- ⑤ 表通りから見えない家や出入り口が樹木に覆われている等、外部からの死角が多い家
- ⑥ 夜間、周辺の照明が十分でない家



## 2 ウェブサイトの掲示板を通じて住居契約を行う場合は、 詐欺被害に遭わないよう、相手の人定事項等をよく確認する



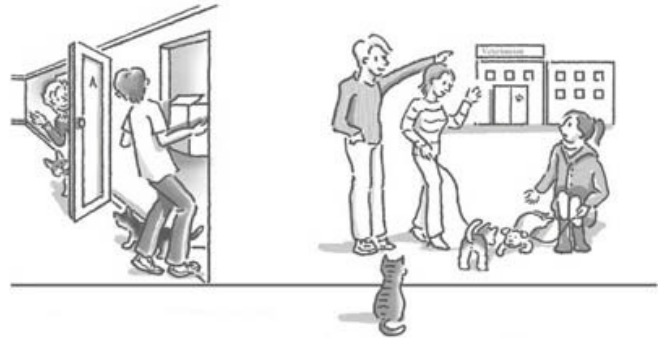
## 3 アパートは防犯上、侵入箇所が制限されるという利点がある一方、 侵入されてしまうと、外から隔離された密室になるという欠点もある。警報装置 の設置等の警備強化については、家主と契約前に交渉する。 以下の点をよく確認する。

- ① 入居者の状況
- ② ガードマン等セキュリティの有無
- ③ 玄関・ガレージ等の出入規制要領
- ④ 玄関扉や通用扉の施錠設備



- ⑤ 過去の治安関連事件の有無等
- ⑥ 介在する不動産業者や家主の信頼性

**4** 新しい住居に移り住んだら、隣人と勤めて親しく、困った時に相談できるよう、良好な関係を日頃より築いておく。



**5** 訪問者は必ず覗き窓等から、相手を確認する。

扉を開ける際にも、ドア・チェーンをかけたまま再確認した上で、扉を開ける等慎重に。



**6** 電話の側には緊急連絡リストを準備しておく。



**7** 住居への出入りやエレベーターに乗る前には、不審な人物がいないか、まず安全を確認する。



# 事件や事故に巻き込まれたら

十分に注意していても、不測の事件や事故に巻き込まれることも考えられます。

万一の場合に備え、次の点を覚えておきましょう。



## 1 警察・消防・救急車は全て「911」です。

緊急時には「911」を回し(公衆電話ではコイン不要)、オペレーターに緊急事態の場所と内容(警察・消防・病院の別)を告げます。英語で説明できない時には「ジャパニーズ・ブリーズ」と告げれば、日本語通訳サービスを介しての通話が可能です。緊急時意外には、「911」ではなく管轄の警察署へ直接連絡しましょう。

## 2 警察に呼び止められたら

- ① 落ち着いて、警察官に協力する
- ② 武器等を所持していると誤解されないよう、常に自分の両手が警察官に見えるようにする
- ③ 車中で止められた場合、両手をハンドルの上に置き、警察官の指示があるまで動かず車中に留まる



## 3 逮捕・連行されてしまったら

- ① 警察官はあなたが関与したと思われる事件に関する質問をする前に、あなたの権利(Miranda Right)を告げる。
- ② 警察官の英語による説明がよく理解できない場合は、日本語の通訳を要請する。
- ③ 調査のため所持品を没収された場合は、必ず控えを受け取る。



- ④ 親類や弁護士等への電話は一度だけ許可される。

## 4 警察官に不当な扱いを受けたら

警察官の名前、バッジ番号、車のナンバー、背格好、日時等をできるだけ多くの情報を集め、独立調査機関であるCivilian Complaint Review Boardに連絡する。連絡は、電話の他、以下のホームページでも行うことができます。

警察官の名前
バッジ番号
車のナンバー
背格好
日時



Civilian Complaint Review Board

住所: 40 Rector Street, 2nd Floor, New York, NY 10006

電話: 1-212-442-8833

ホームページ: [www.nyc.gov/html/ccrb/home.html](http://www.nyc.gov/html/ccrb/home.html)

## 5 領事館への通報

思わぬ事態に遭遇しお困りの方は、総領事館の「邦人援護担当官」へご連絡ください。週末・休日を含め、緊急時のための24時間対応可能な電話システムも導入しています。

在ニューヨーク総領事館

電話：1-212-371-8222

弁護士、通訳に関する情報は、ホームページ(<http://www.ny.us.emb-japan.go.jp>)からご覧になれます。



## パスポートの盗難・紛失

パスポートを盗難・紛失した場合には以下の手続きを行いましょ。

- 1 警察に届け、警察署による証明書(Police Report Fact Sheet)を入手する。

\*警察署による証明書を発行してもらえない場合は、総領事館にご連絡ください。警察署による証明書の作成依頼書は、以下のホームページからダウンロードできます。

ホームページ:

[http://ny.us.emb-japan.go.jp/jp/p/polic\\_report.html](http://ny.us.emb-japan.go.jp/jp/p/polic_report.html)



- 2 領事館でパスポートの新規発給の手続きを取る。

紛失、盗難、焼失等した場合、その旨を最寄りの警察署に届け出た後、紛失一般旅券等届出書を提出の上、一般旅券の新規発給申請を行ってください。パスポートの再取得には年末年始を除き原則として約1週間を要します。

### 必要書類

- ① 一般旅券発給申請書 1通(当館備え付け)
- ② 紛失一般旅券等届出書 1通(当館備え付け)
- ③ 紛失・焼失届出書 1通(当館備え付け)
- ④ 戸籍謄(抄)本 1通(6ヶ月以内に発行されたもの)
- ⑤ 写真 2葉(サイズ縦4.5cm、横3.5cm)
- ⑥ 警察署による証明書 1通(証明書が交付されなかった場合、届出番号「Complaint Number」のみでも可)
- ⑦ 米国滞在資格が確認できる書類(米国査証、I-94、I-20、DS-2019、永住権(グリーン

カード)等)

⑧ 他国政府の発行した有効なパスポート、又は出生証明書(重国籍者のみ)

- パスポートが交付されるまで日数がかかるため、すぐに総領事館にご連絡ください。
- パスポートのコピー、有効な日本の免許証等、身元確認資料等があれば、提出してください。

## 早急に日本へ直接帰国する方は

パスポートを再取得するには、本籍地から戸籍謄(抄)本を取り寄せる必要がある他、申請してから交付まで年始年末を除き原則として約1週間に要しますが、パスポートの紛失や盗難、有効期限切れ、又は新生児のため旅券を所有していないケースなどで、緊急に日本へ帰国しなければならない場合、日本への直行便又は経由便でも経由地に入国しない(空港の外に出ない)便で帰国する方に限り、パスポートに代わる「帰国のための渡航書」を発給しています。「帰国のための渡航書」は必要書類が揃っていれば、申請の当日又は翌日以降に交付されます。

なお、「帰国のための渡航書」は、日本に帰国するためだけに有効となりますので、帰国後に再び海外渡航する場合は、日本国内において、パスポートの新規発給を受ける必要があります。また、「帰国のための渡航書」を発給した時点で、旧パスポートは無効となりますので、発行後パスポートが見つかったとしても使用できませんので、ご注意ください。

## 必要書類

- ① 渡航書発給申請書 1通(当館備え付け)
  - ② 紛失一般旅券等届出書 1通(当館備え付け)
  - ③ 紛失・焼失届出書 1通(当館備え付け)
  - ④ 写真 2葉(サイズ縦4.5、横3.5cm)
  - ⑤ 警察署による証明書 1通(証明書が交付されなかった場合、届出番号「Complaint Number」のみでも可)
  - ⑥ 戸籍謄(抄)本(6ヶ月以内に発行されたもの)又は、日本国籍が確認できる書類(本籍地の入った住民票、本籍地の入った日本の運転免許証)
  - ⑦ 航空券(搭乗日、座席が確認されるもの)
- 申請には、日本国籍の立証、帰国に利用する飛行機のチケットが必要です。

## 法規・習慣の違いによるトラブル等

生活習慣上の各種行為について、一部では日米間における受け取られ方に大きな差があります。日本人の感覚では些細な行為であっても、米国では逮捕され裁判になったり、思いがけなく、大きな処罰を受けた例があり、日米間の習慣・法制の違いを知っておく必要がありますので、注意しましょう。



### 1 喫煙、飲酒

ニューヨークでは、21歳未満の飲酒や公共の場(屋外を含む)における飲酒が禁止されています。また、空港、レストラン等、公共の建物内での喫煙が禁止されていますので、注意しましょう。

### 2 家庭内暴力

家庭内暴力(家庭における配偶者や子供に対する暴力)については、日本とは比較にならないほど厳しい施策が採られています。これら家庭内暴力事案を見聞きした者は、警察当局への通報を義務づけられており、通報を受け、駆け付けた警察は、例え夫婦喧嘩や親子喧嘩であっても、当事者双方の意思とは関係なく、当事者の一方を逮捕・拘留する場合があります。不用意に隣近所に聞こえるような大声を上げたり、騒いだりすると思わぬ結果を招きかねないので注意しましょう。



### 3 親と子の関係

#### ① 入浴

米国において入浴は、プライバシーが強く保たれるべき行為であり、例え親子であっても一緒に入浴することは、非常識な行為と見られ、時には子供に対する性的虐待とみなされますので、注意しましょう。



## ② 子供だけによる留守番等

子供だけに留守番をさせたり、駐車中の車に子供を残すことは、児童虐待としてみなされ、逮捕され、裁判となる場合が多くありますので、注意しましょう。対象となる子供の年齢については、市や郡により異なりますが、概ね18歳未満の子供を対象として、年齢別のガイドラインが設定されています。



## ③ しつけと児童虐待

子供に対する体罰については、米国人内でも見方が多様ですが、児童の体に痕跡が残る、親が感情的になり自己コントロールを失っている場合など、また児童の年齢に不相应な体罰は児童虐待とみなされ、親は逮捕され裁判となります。時には子供が隔離保護を受け、家族と引き離される場合もあります。公衆の面前で子供に対し大声を出すなど、過度ととらえられるような叱り方をしないよう注意しましょう。また、子供に服や靴を着せずに外を歩かせても、時には虐待・放任として通報されることがありますので、注意しましょう。

## ④ 親権の問題

近年、国際結婚が増えていますが、父母のいずれもが親権(監護権)を持つ親であっても、一方の親権者の同意を得ずに子の居所を移動させること(親が日本に帰国する際に子を同伴する場合を含みます。)は、子を誘拐する行為として米国の国内法では重大な犯罪(実子誘拐罪)とされています。国際結婚した場合、その間に生まれた子を日本に連れて帰る際には、こうした事情にも注意しましょう。



れておく。

### 緊急避難キットリスト

<input type="checkbox"/>	飲料水(1日1人あたり1ガロン。壊れない容器に密閉し、保存開始日を記入する。6ヶ月毎に詰め替える。)
<input type="checkbox"/>	缶詰等の長期保存食と缶切り
<input type="checkbox"/>	手袋・着替え・レインコートや傘等の雨具
<input type="checkbox"/>	毛布または寝袋
<input type="checkbox"/>	応急手当キット及び最低1週間分の処方薬(薬は有効期限が切れる前に詰め替える)
<input type="checkbox"/>	携帯ラジオ・懐中電灯・多量の乾電池・ろうそく
<input type="checkbox"/>	現金
<input type="checkbox"/>	自宅と自動車のキー(スペア)
<input type="checkbox"/>	家族または同僚等との緊急時集合場所を記述したメモ及び周辺の地図
<input type="checkbox"/>	ホーム・ドクターの連絡先
<input type="checkbox"/>	心臓ペースメーカーの種類、家族全員の健康・医療情報
<input type="checkbox"/>	写真つきID・保険証・身元確認資料等重要書類のコピー
<input type="checkbox"/>	家族に幼児・お年寄り・身体障害・ペットを持つ方がいる場合には必要な物品
<input type="checkbox"/>	警笛
<input type="checkbox"/>	石鹸・歯ブラシ・歯磨き粉等の衛生管理用品
<input type="checkbox"/>	スニーカー等の歩きやすく頑丈な靴
<input type="checkbox"/>	ヘルメット(あれば便利)
<input type="checkbox"/>	防塵マスク(あれば便利)
<input type="checkbox"/>	予備のメガネ(あれば便利)
<input type="checkbox"/>	緊急時連絡先等リスト(最終ページ)

## 3 マニュアル

ニューヨーク市では、家庭で緊急事態に備えるためのガイド「Ready New York」を作成しています。総領事館では日本語に翻訳し、ホームページに掲載しています。

また、英語版は、ニューヨーク市緊急管理局のホームページ([NYC.gov/oem](http://NYC.gov/oem))にて入手



できます。

## 安全情報の収集

緊急事態に巻き込まれないよう、各人・各企業の他、旅行者も日頃から最新情報の入手に努めましょう。

### 1 日本語

総領事館のホームページ：

<http://www.ny.us.emb-japan.go.jp>



### 緊急メール

日本政府や総領事館、アメリカ政府やFBI等によって発表される緊急情報を日本語で電子メールにてお届けしています。ホームページより、是非ご登録下さい。

### 日本語テレビ番組

FCl (フジテレビ)	ニュース放映時間:平日 7-8AM 電話番号:1-212-753-8100 ホームページ: <a href="http://www.fujisankei.com/">http://www.fujisankei.com/</a>
TV ジャパン	電話番号:1-877-885-2726 ホームページ: <a href="http://www.tvjapan.net/">http://www.tvjapan.net/</a>



お住まいの地域によって、チャンネルや放送時間が異なります。詳細は、テレビ局にお問い合わせください。



## ラジオ番組

- NHKワールドラジオ日本(短波放送): ホームページ:<http://www.nhk.or.jp>

## 日本語情報誌

- 朝日新聞(国際版): 1-718-433-1400
- 日本経済新聞(米州版): 1-212-261-6230
- NYジャピオン: 1-800-535-6863
- USフロントライン: 1-212-922-9090
- 週刊ニューヨーク生活: 1-212-213-6069
- バイデイリーサン: 1-212-922-9201
- アメリカンドリーム: 1-212-905-7779
- よみタイム: 1-212-421-6322



## 2 英語

- ニューヨーク市緊急管理局: 電話番号:ダイヤル 311  
ホームページ:[NYC.gov/oem](http://NYC.gov/oem)
- ニューヨーク州緊急対策本部: 電話番号:1-518-457-2200  
ホームページ:[www.dhSES.ny.gov/oem/](http://www.dhSES.ny.gov/oem/)
- 連邦緊急事態管理所(FEMA): 自然災害・災害・テロに関する情報  
ホームページ:[www.fema.gov](http://www.fema.gov)
- 国立測候所: ホームページ:[www.weather.gov](http://www.weather.gov)
- 赤十字: ホームページ:[www.nyredcross.org](http://www.nyredcross.org)



## テロ対策

2001年9月11日に発生した同時多発テロ事件を機に、米国はテロへの警戒を強化しました。今後米国にてテロが発生するかは不透明ですが、必要な緊張感を持ち、用心し生活することが重要です。ただし、必要以上にテロに対し敏感にならず、根拠のない噂に惑わされないようにしましょう。

### 爆発事故に遭遇した場合

古い建物の多いニューヨークでは、アスベストによる二次被害が心配されます。水蒸気や瓦礫に接触した可能性のある人は、シャワーを浴び、着ていた服をプラスチック袋に入れ、クリーニングするか破棄してください。



### 1 事務所周辺の警備

事務所や駐車場を設置する以前の段階から、次のような点に気をつけましょう。また、できるだけ事務所内外の警備を強化しましょう。

- ① テロの対象となるおそれのある施設の付近には事務所等を設置しない。



- ② 来訪者を装った不審者に、事務所や車に爆弾を設置されないようにするため、以下の2点に気をつける。

- 社員用と来訪者用の入り口や駐車場は区別する。
- 爆弾が仕掛けられた車に事務所を爆破されないよう、来訪者の駐車



場は、事務所から離れた

- ③ 駐車場入口には監視員を配置し、不審人物の出入りを規制する。
- ④ 社員・来訪者にIDカードの提示を求める。また、事務所内に爆弾を仕掛けられないよう、防犯カメラを設置したり、監視員の巡回を強化する。
- ⑤ 爆弾テロの脅威がある時には、建物周辺の整理整頓に努め、爆弾物の発見を容易にできるようにする。



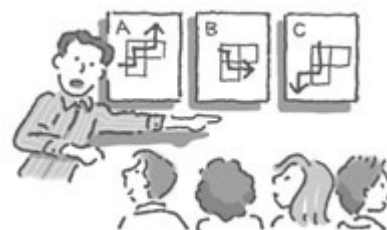
## 2 不審物早期発見のための工夫

爆弾を設置されても早く発見できるよう、次のような工夫をしましょう。

- ① 来訪者の手荷物検査を必ず行う。金属探知機も使う。
- ② 社内外の死角をなくし、整理整頓をすることによって、爆弾の早期発見を心掛ける。また、監視が行き届かない所は見回りをする。
- ③ 社員全員が不審物(放置荷物、手紙、小包等)に対し普段から注意する

## 3 事前の訓練

- ① 予告あるいは爆発物を発見した場合の行動等を定め、社員全員に伝える。
- ② 爆破予告電話を受ける可能性のあるすべての社員(特に電話交換手)に対し、聴取項目を記載したメモを事前に配布する等し、予告電話への対応要領を知らせ演習を行う。
- ③ 速やかに避難できるよう、避難経路と避難先を複数決めて繰り返し訓練を行う。



## 4 爆破予告電話への対応

爆破予告電話には単なる嫌がらせ、真の脅迫、予告等様々な動機のものがありますが、どの電話も一応信憑性のあるものと考えましょう。電話録音機を設置し、通話内容を正確に把握できるよう対策を講じておきましょう。

爆破予告電話を受けた場合は、通話を中断させず、爆発物が仕掛けられた場所や爆発時刻等、出来る限り情報を入手しましょう。犯人との会話の詳細を記録し、警備責任者に遅滞なく連絡するようにしましょう。



## 5 自動車爆弾

テロリストは、事務所や自動車に爆弾を仕掛けることが多いので、普段から爆弾対策を講じましょう。

- ① 夜間、長時間路上や警備員のいない駐車場に車を放置することは避ける。また、事務所や自宅のガレージ周辺に不審者が近づけないよう工夫する。
- ② 車に乗り込む際には、タイヤ周辺、車体下部、車内を点検し、異常がないか確認する。
- ③ 新たなテロの手口として自動車に爆発物を積んで事務所等に突入させる方法も見られる。テロ攻撃が発生する危険性のある地域においては、コンクリート製の車止めを準備する。



## 6 小包・手紙爆弾等

小包や手紙は、受領時点で、爆発物、放射性物質や生物・化学物質が梱包されていないか気をつけましょう。不審物の疑いがある時は、発送人に問い合わせる等しましょう。

不審物と判断された時は、早々に避難し、警察へ連絡しましょう。



不審な小包・手紙が届いたら：

- ① 不審な小包・手紙は振ったり、投げたりせず、慎重に取扱う
- ② 不用意に開封したり、中のおいを嗅いだりしない
- ③ 直ぐに人の出入りのない場所に保管し、警察に連絡する



表示に注意！

- 普段予想しない、馴染のないところから送付されている
- 郵便局消印の市・州と差出人の住所が合致しない
- 差出人の住所が無い、または確認できない
- 宛先が手書きである、または幼稚にタイプされている
- 宛先の綴りが間違っている
- 宛先が誰宛かはっきりしない
- 既に職場を去り、相当の期間が経過している人物に宛てられており不自然
- "Personal"や"Confidential" "Do not X-ray"等の記載表示がある
- 包みに脅迫・威嚇文言の記載がある

形状に注意！

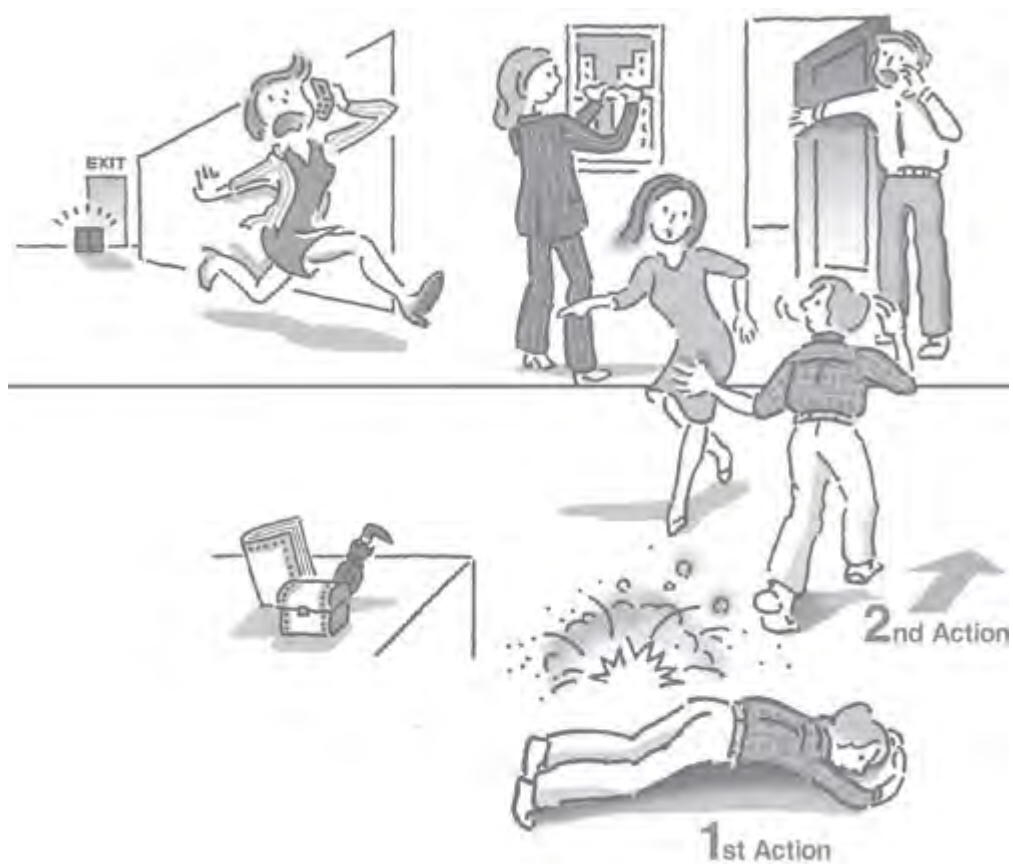
- 包みからワイヤーやアルミホイルがはみ出したり、異臭や付着物がある
- 包みの重量に違和感がある、重さに偏りがある、形状が奇妙である
- 必要以上に切手が貼られている、紐・テープで過度に梱包されている



## 7 万一、テロが発生した場合

爆発物の取り扱いでミスを犯すと生命にかかわる重大な結果を招くことになります。警備責任者の指示に従い、速やかに避難しましょう。

- ① 普段事務所等がない物があれば物品に触ることなく、速やかに容疑物件から遠ざかり、警察等に通報する。
- ② 万が一避難経路確保のため、ドアや窓は開けたままにして逃げる。私物を残してしまった場合でも、危険なので取りに行かない。
- ③ 身近で爆発事件が発生した場合、すぐその場に伏せる。第一の爆発をおとりにして、第二の爆発が起きる可能性があるため、爆発現場から遠ざかる。



## テロから身を守るために

- 空港はしばしばテロリストの襲撃のターゲットとなっていることを念頭に置く。
- 爆風によりガラスが飛び、被害を受けることがあるので、ガラスを多く使用した高層ビルの下等なるべく通行しないようにする。
- 爆弾テロの標的となるおそれのある人の多く集まる場所への立入りはできるだけ避ける。

## 事後対策

- 事件発生の原因究明を行い、警戒を強化する。
- 出入者、受理郵便物、小包等の検査を強化する。
- 事務所周辺の路上駐車を禁止する。
- 社員の自宅周辺、通勤途上の警戒を強化する。
- 管轄警察署の地域担当者と連絡を密にする

## 地域内のサイレン

緊急事態が発生した場合、特別なサイレンが大きな高音で流され、住民に警戒を促します。火災時のサイレンと異なり、途切れずに3-5分間流れます。



- ① サイレンが届かない地域には、警察や、特別な警報用ラジオが緊急事態を知らせる。旅行者や周辺地域に詳しくない方のためには、公園や公共施設等に緊急事態発生時の対処法等が提示される。船上やハドソン川周辺の方には、米国湾岸警備隊が緊急事態を知らせる。



- ② サイレン、または警察による警告を聞いたら、緊急事態解除のニュースが流れるまで、ラジオ局の情報に従う。避難を命じられなければ、屋内に留まる。助けを必要とする場合以外は、電話での問い合わせは避ける。



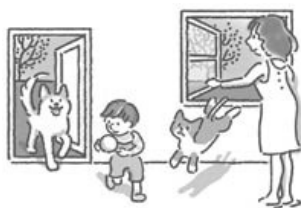
## 危険から身を守るための防護

防護体制(屋内待避等)を取るよう指示された場合、以下の行動を取りましょう。



1 緊急情報を流すラジオ局のスイッチを入れる。

2 家族とペットを屋内に入れる。



3 全ての窓とドアを閉める。



4 換気扇、暖房、冷房等の換気装置を止める。

5 屋外に出ることは避ける。避難勧告が出されたとき以外は、屋内に留まるほうが安全。

6 暖炉の火を消し、熱が冷めたら換気弁(ダンパー)を閉じる。



## 避難

避難が必要な場合は、ラジオで避難勧告と状況に応じた対処法が流されます。落ち着いて、慎重かつ適切な行動を取るようにしましょう。緊急避難キットを用意しておきましょう。

## Evacuation



1 車を所持していない知り合いを同乗させてあげるようにする。

2 車の窓や通気口を閉め、避難エリアを出るまでは冷暖房をつけないようにする。



3 衛生と安全上の理由からペットを公共の避難所に連れ込むことは出来ない。避難所の外のペット用エリア、またはご自身の車に置く。ペットフードやペット用品も携帯する。



4 所定の避難ルートに沿って避難する。近道や裏道は閉鎖されている可能性がある。車を持っておらず、緊急特別バスが自宅エリアを迂回していると伝えられた場合、近場の緊急特別バス停留所まで歩く。

学校にいる場合、生徒や職員は、各郡の緊急事態担当者の指示に従い、下校、室内待機、または避難対策をとる。

避難指示が出された場合、生徒や学校職員は、スクールバスで緊急事態指定区域圏外の学校レセプションセンターに移動するので、保護者は学校ではなく、指定の学校レセプションセンターに問い合わせる

。

## 停電が起きたら

- 1 電気製品の電源を切り、電力復旧時に一度の電源が入り、再び容量を超えることを防ぐ。



- 2 冷蔵庫・冷凍庫は出来る限り開閉せず、庫内の食物の腐敗を防ぐ。



- 3 なるべく外出しない。外出しなくてはならない場合、落下した電線からできるだけ遠ざかる。



か

- 4 電池式のラジオで、復旧等の最新情報の入手に努める。



## 5 ろうそくやランプを使用する場合には火災に注意する。



## メンタルヘルス

ニューヨークでは、同時多発テロ事件に起因する心の問題以外にも、生活習慣や言語の違いによるストレスに悩まされる邦人が見られます。下記のような症状に気づいたら早めにメンタルヘルスの専門家に相談することをお勧めします。

日本語の通じる医療機関及び邦人医療支援ネットワーク(ジャムズネット)の情報は、<http://www.ny.us.emb-japan.go.jp>を参照して下さい。

過度のストレスを受けたり、事件・災害等の被害者は、健康面に次のような変化が出る可能性があります。



怒りやすくなる



睡眠不足になる



集中できなくなる



疲れやすくなる



悪夢を見る



極度に活動的になる



食欲を失う



憂鬱になる



酒や薬物の使用が増える等

## ストレスの予防と対策

- 自分が不安に思うことを家族、友人、近所の方に話す。自分と同じような経験をした人と話すことは、ストレスを解消したり、孤独感を和らげる。
- できるだけ日常生活のリズムを取り戻すように努める。また、健康的な食生活と十分な睡眠を心がける。
- できるだけ身体を動かすようにする。



## 在留届を必ず提出しましょう

### 1 在留届とは

- ① 旅券法により、外国に3ヶ月以上滞在する方は、管轄する在外公館に「在留届」を提出することが義務づけられています。住所等が決まりましたら、速やかに「在留届」を提出してください。（日本に住民登録されている方も「在留届」を提出してください。）
- ② 「在留届」は、当館ホームページから簡単に登録することができます。
- ③ 住所等の変更、帰国や転出をする際には、必ず「変更届」/「帰国・転出届」を提出してください。



### 2 在留届の活用例 ・メリット

「在留届」を提出しているとこんなに便利で安心

- ① 「在留届」を提出した方には、「緊急メール/総領事館からのお知らせ」を配信しています。

「緊急メール/総領事館からのお知らせ」配信サービスとは

テロ事件、大規模事故、自然災害、感染症の流行等、在留邦人の皆様の安全にかかわる事件、事故、災害等が起こった際の緊急情報、および当館管轄地域で生活する上で役立つ各種案

内や領事関連情報を電子メールで配信しています。

当館管轄地域で大規模な事件、事故、災害等が発生した場合、このメールを通じて、在留邦人の皆様への情報提供や安否確認を行います。

- ② 近年、海外で生活する日本人が急増しており、このため海外で事件・事故や思わぬ災害に巻き込まれるケースが増加しています。万が一、皆様がこのような事態に遭った場合には、在外公館は、「在留届」をもとに皆様の所在地や緊急連絡先を確認して必要な援護を行います。
- ③ 在外公館においてパスポートの申請、各種証明書の申請、戸籍・国籍関係の届出の提出、在外選挙人登録の申請等を行う際、「在留届」が提出されていると手続きがよりスムーズに行えます。

### 3 「在留届」と「緊急メール/総領事館からのお知らせ」の登録方法

- ① 「在留届」、「緊急メール/総領事館からのお知らせ」は、下記リンクから簡単に登録できます。
- ② 「在留届」は郵便、FAX、当館領事窓口でも提出できます。在留届用紙は、当館領事窓口に備え付けられている他、こちらのページからダウンロードすることも可能です。
- ③ 「緊急メール/総領事館からのお知らせ」は、当館管轄地域に居住していない方等、当館に在留届を提出していない方も登録頂けます。



「在留届」、「緊急メール/総領事館からのお知らせ」の登録

当館ウェブサイト <http://www.ny.us.emb-japan.go.jp/>

「在留届」送付先

郵送先:

Visa & Consular Section

Consulate General of Japan

299 Park Avenue, New York, NY 10171

Fax送付先:

212-755-2851

## オンライン安否照会システム

2012年(平成24年)3月31日をもちまして全米・カナダ安否確認システムの運用は終了しました。  
同年4月1日からは、オンライン安否照会システムの運用を必要に応じて行います。詳しくは海外安全ホームページにあるオンライン安否照会システムをご覧ください。

オンライン安否照会システム～利用案内～

([http://www.anzen.mofa.go.jp/c\\_info/online.html](http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/online.html))

## 緊急時の連絡先等

緊急の場合に備えて最寄の警察署、消防署、病院等の連絡先を、職場と住居の目に見える場所に掲示しておきましょう。アレルギー反応や持病をお持ちの場合の方は、エマージェンシーID等に記入し、常備するよう心がけましょう。





This person is Japanese

名前  
Name

血液型  
Blood Type

誕生日  
Date of Birth

SSN  
Social Security Number

緊急連絡先  
Emergency Contact

最寄の消防署  
Firehouse

最寄の警察  
Police Department

最寄の病院  
Hospital / Clinic

かかりつけのドクター  
Family Doctor / Physician

家族の名前  
Name of Family Member

家族の名前  
Name of Family Member

家族の SSN 誕生日  
Social Security Number & Date of Birth

家族の SSN 誕生日  
Social Security Number & Date of Birth

連絡先  
Contact Info.

連絡先  
Contact Info.

アレルギー反応  
Allergies

持病・現在服用している薬  
Chronic Disease / Current Medications

メディカル・ヒストリー  
Medical History

安否確認システムで使う電話番号と生年月日  
Code of Emergency Information Service System

その他  
Others

総領事館 Consulate General of Japan in NY 1-212-371-8222



警察/救急車/火事

**911**

在ニューヨーク日本国総領事館

**1-212-371-8222**

[www.ny.us.emb-japan.go.jp](http://www.ny.us.emb-japan.go.jp)

緊急時専用特設電話

(※緊急事態発生時のみ告知します)

**1-212-230-9300**

**1-212-230-9301**

**1-212-230-9302**

**1-212-230-9303**

**1-212-230-9304**

開館日: 月曜日～金曜日 (休館となる祝日を除く)

領事部窓口の開設時間: 午前9時30分～午後4時

299 Park Avenue, 18F., New York, NY 10171.